

保健体育

中学校第1学年

OS・ソフト等

<単元・題材名等>

体育理論「運動やスポーツの多様性」

- ・ Apple iPad
- ・ ミライシード（オクリンク）
- ・ ミライシード（ムーブノート）

ねらい

運動やスポーツには世代や機会に応じた多様な楽しみ方があり、生涯にわたって運動やスポーツに関わり楽しむことができるようなスポーツライフについて考えることができる。

主なICTの活用方法

- ・ ライフスタイルに応じたスポーツライフのデジタルシートを作成して仲間と交流したり、多様なスポーツへの関わりをしている高齢者等のインタビュー動画を視聴したりする。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 自己の経験をもとにこれまでのスポーツライフについて考え、意見交流や動画視聴を通じて思考・判断し、今後のスポーツライフについて深く考えることができる。

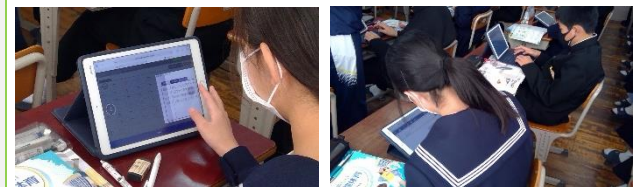
実践の概要

運動やスポーツの合理的な実践を通して、楽しさや喜びを味わい、それらを生涯にわたって豊かに実践できるようにするとともに、「見る」、「支える」、「知る」などの多様な関わり方を通して、生きがいや身近な文化と捉えることができるようにする。また、人はなぜ運動やスポーツを行うのかといった必要性や楽しさ、運動やスポーツを通じた多様な関わり方や楽しみ方について理解するとともに、運動やスポーツの多様性に興味をもち、自分と運動やスポーツとの関わり方について、思考・判断・表現できるようにする。世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を身に付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解できるようにする。

生徒の学びの様子

○自己の経験をもとに10歳代、20歳代、40歳代、60歳代に色分けされたスポーツライフのデジタルシートに運動やスポーツとどう関わっていきたいかを入力し、ムーブノートで自由に見合ったりオクリンクで電子黒板に映して紹介したりし合ったことで、多様な考え方に触れることができた。

○サッカーJリーグの地元チームサポーターとして長年選手たちを支えている高齢者の活動の様子やインタビューを動画で視聴したことで、運動やスポーツへの多様な関わり方の具体を知ることができた。



指導のポイント

- 運動やスポーツへの主な関わり方が「する」である生徒たちが、「支える」、「見る」、「知る」という関わり方の具体がイメージできるように、身の回りにいる様々な年齢層の方々の運動やスポーツへの関わり方を聞いてみるのも効果的である。
- 体育の授業や体育的活動における運動やスポーツへの多様な関わり方を考える機会を設けることで、中学校生活において生涯にわたる豊かなスポーツライフにつながる実践を促すことができる。